



# 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での災害時避難について

災害時に開設される避難所は、3密（密集・密閉・密接）の条件が揃いやすい場所です。  
市では、避難所での感染予防対策を進めていますが、市民の皆さんも災害が発生したときに備えて、新たな避難先の検討や、非常用持出品に衛生用品（マスク、消毒液など）を追加してください。



検討1

## 在宅避難

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。自宅での安全確保が可能な人は、在宅避難を検討してください。水害の場合は、ハザードマップを確認し、家の2階などへの避難（垂直避難）も検討しましょう。

検討2

## 避難場所以外の安全な場所へ

避難先は、小中学校や公民館だけではありません。3密回避のため、安全な親戚や知人宅などへ避難することも検討してください。

検討1、2を考慮した上で、避難所を利用する際は、次のことに気を付けてください

- 従来の非常用持出品に加え、マスクや消毒液などの衛生用品を持参してください。非常用持出品の具体例については、市ホームページなどを参考にしてください。
- 避難所の入口で検温や問診を行います。発熱者や感染の疑いがある人は、一般避難者と動線を分けるため、避難所担当職員が専用スペースに誘導します。
- 避難所では、マスクの着用、手洗い、消毒、咳エチケットを徹底してください。
- 人と人の距離を2m以上確保し、会話などで密集することがないようにしてください。

「ふるさと・あわら」の味

市外にお住まいの「家族や友人が、「ふるさと・あわら」の旬の果物や野菜、おいしい米などの農畜産物で心と体を満たしていただけるよう、これからのお盆や夏期休暇などの帰省期間に、ぜひともあわら市のふるさと納税をご紹介します。

ふるさとチョイス あわら

検索

「ふるさと納税で「あわら」を全国にPR展開中！」

ふるさと納税とは、生まれた故郷やお世話になった自治体・応援したい自治体に寄付ができる制度です。

このため、各自治体では、多くの人に応援していただけるよう地元の魅力や寄付金の使途目的などを全国に広くPRしています。

近年、全国的にふるさと納税を利用して、地方を応援する人が増えており、あわら市においても令和元年度の寄付額が過去最高の6500万円以上となり、金津小学校のプール工事事業などに活用しました。

市では今年度から、体制を強化するため、創造戦略部市民協働課を新設し、ふるさと納税業務を行っています。これからは市民の皆さまと積極的に協働しながら、もっと「あわら」を全国にPRして、さらなる寄付額の増加を目指していきます。

## 返礼品提供事業者大募集！

ふるさと納税の返礼品として登録することで、商品やサービスの販売促進、販路拡大が図れます。

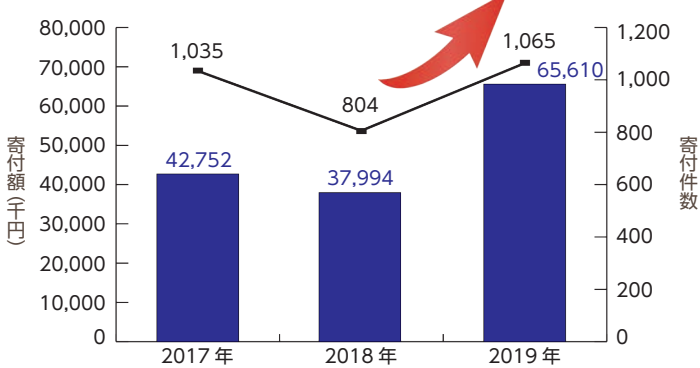
メルिट

- ・ふるさと納税ポータルサイトや市のパンフレットなどに商品やサービスを掲載し、全国へPRができます。
- ・返礼品の価格が自由に設定できます。
- ・返礼品の送料は市が負担します。

問合せ

市民協働課 市民活躍推進G  
☎ 73-8003  
✉ kyoudo@city.awara.lg.jp

あわら市ふるさと納税推移表



▲金津小学校のプール工事事業に活用